

JR東海労なごや

2011年 2月24日 No836
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：教宣部

春の闘い勝利・組織の強化・拡大 第21回定期地本委員会 開催



山田委員長

2月21日 金山アビタンにおいて、第21回定期地本委員会を開催し、当面する春の闘いを職場から闘い抜く事を委員・傍聴者で確認しました。

議長に紀伊長島分会の谷口さんを選出し議事が進められました。



谷口議長

春の闘いを職場から創ろう！

山田委員長は、職場の現状から東海労が必要となっている。斎藤書記長への「酒気帯び」ゲッチュ上げ処分は関西での組織拡大に対する報復である。蒲郡駅事件、会社と権力の狙いは何であったのか、我々は勝利した。春闘はJR総連統一要求で連帯して闘う。反弾圧、反リニア、そして組織拡大を柱として春の闘いを展開し4月の統一地方選の勝利を目指すこと、そのために何よりも職場から闘いを創り出そうと挨拶がありました。

来賓として、本部より木下副委員長、高原副委員長、上田研修・サークル部長、原地本OB会長、JR総連議員団副団長楠関ヶ原町議会議員からそれぞれ連帯の挨拶をうけました。

委員全員の発言で闘う方針を確立

発言は委員全員から闘う方針もとづいた職場の課題が発言されました。導入されたATS-P Tについて保安装置の体をなさず不安を煽る装置となっている。

ICカードについては導入目的と違う悪用がされている事などに関する発言が多く出されました。書記長の総括答弁のあと、山田委員長の団結ガンバロウで委員会を終了しました。

